

豊岡市付近の直翅型昆虫

加納 康嗣

1. はじめに

本会の大阪・京都に在住するメンバーの方々と一緒に但馬に行く機会があった。神鍋付近の“バッタを調べる会”という普及行事の“講師?”としてお招きを受けたのである。当日は雨のため残念ながら室内行事に振替えられたが、前日には三川山のブナ林で採集ができ、ここに採集できた直翅型昆虫を紹介してみたい。

すばらしいブナ林に案内して下さった、谷角素彦、足立義弘、加野正、島田真輔の諸氏、また文献をご教示下さった大野正男先生にお礼申し上げたい。

2. 調査日及び調査場所

1982年9月11日 兵庫県城崎郡香住町三川山（以下「三川山」と記す）。

兵庫県豊岡市妙楽寺（以下「妙楽寺」と記す）。

1982年9月12日 兵庫県城崎郡日高町神鍋（以下「神鍋」と記す）。

3. 採集目録（筆者採集の場合は採集者名は省略する）

I. ナナフシ目 PHASHIDA

(1) *Micadina* sp. シラキトビナナフシ

三川山 1982-ix-11 1♀

今まであまり注意して採られていないが、かなり各地に棲息しているようである。本品は三川山のブナ林床をスウィーピングして採集した。筆者の知るかぎり、大和葛城山頂天神ノ森、大山などで採集され、どこもブナ林があるところである。

腹面第6腹節腹板末端にY字型に分岐した付属物がある（図I B 矢印）。胸部正中線に幅広い紫紅色の縦帯があり、前・中・後肢腿節基部がオレンジ色なので、生品なら一見で同定可能である。後端に切れ込みがある（図I A 矢印）。

(2) *Neohirasea japonica* トゲナナフシ

妙楽寺 1982-ix-11 1♀

II. 直翅目 キリギリス亜目 ORTHOPTERA: ENSIFERA

Tettigoniidae キリギリス科

* 現住所 〒518-04 名張市

加納康嗣

- 〈1〉 *Phaneroptera nigroantennata* アシグロツユムシ (ナカノ ツユムシ)
三川山 1982-ix-11 1♂
- 〈2〉 *Holochlora japonica* サトクダマキモドキ (クダマキモドキ)
妙楽寺 1982-ix-11 1♀
- 〈3〉 *Homorocoryphus lineosus* クサキリ
神鍋 1982-ix-12 1♂1♀
- 〈4〉 *Leptoteraura albicorne* ヒメツユムシ (コガタササキリモドキ)
三川山 1982-ix-11 1♀
- 〈5〉 *Tettigoniopsis* sp. コバネササキリモドキ (仮称)
三川山 1982-ix-11 1♂2♀

本種は、日浦 (1976) により *Xiphidiopsis* sp. D とされたものと、また藤本・加納 (1982) が♂♀交信を観察したものとも同種である。対馬や日本海側の山地で棲息が確認されている。全身緑色だが、背中に濃い栗色の筋があり、♂尾端に黒い鼻状の突起がある (図2)。

- 〈6〉 *Tettigoniopsis* sp. フタエハタカササキリモドキ (仮称)
三川山 1982-ix-11 3♂7♀

前種と同様、樹上性の小型種である。翅が短いのも前種と似ているが、♂肛上板が二つ重ね折りのようになっているので (図3矢印)、この仮称を用いている。

♀の産卵管は棒状で、前種のようにそり上がっていない。

♂肛上板・♀産卵管などの諸特徴から、前種よりも *Type-genus* の *T. forcipicercus* ヒメヤブキリモドキ (仮称 キタハタカササキリモドキ) に近縁と思われる。

- 〈7〉 *Metrioptera hime* ヒメギス
神鍋 1982-ix-12 1♂
妙楽寺 1982-ix-11 1♂

Rhaphidophoridae カマドウマ科

- 〈1〉 *Tachycines asynamorus* クラスミウマ
妙楽寺 1982-ix-11 1♂

本種は屋内性で筆者の自宅や近くの神社などにも多い。擬腹板 *pseudo-sternite* (図4P) は、コノシタウマに比して鋭角状に上方に突出している。キチン化も弱い。

〈2〉 *Anoplophilus acuticercus* クチキウマ

三川山 1982-ix-11 1♀ その他幼虫多数

この種の成虫を採集でき感激した。なにぶん採集の機会が大変少ない種類であるからだ。ところが三川山のブナ林内や下りの山道沿の雑木の高い密生した枝をスウィープすると多数の幼虫が獲れた。筆者の背たけよりも1~2mほど高い枝から成虫を得た。主にブナ帯に棲息しているのは明らかで、三重県亀山市の野登山のブナ林でも多数の幼虫を採集したことがある。成虫が一頭きりで、他は初~中齢の幼虫であった。

朽木中に棲息するとされているが、次の2点で樹上性と確信する。

1. 樹上で多く採集できたこと。

2. 成虫を写真撮影のため、カゴから出したが、逃げるのではなく、多くのキリギリス類のようにアンテナを伸ばし、身体を硬直させる一種の擬態姿勢を示した。地上性ならば物影にいそいで隠れる行動を示すだろう。

本属は現在日本で2種知られている。本種の産卵管は基部が太く、鎌状で後方に強く曲がっている。また、上片の背縁に小さな歯があり、下片の腹縁は、不規則なノコギリ状である(図5A)。以上の特徴から本種であることは明らかである。(エサキクチキウマ *A. esakii* の産卵管は、基部が細く、後方にゆっくりと曲がっている。また上片の背縁や下片の腹縁には、まったく刻みが見られない)

Gryllacrididae コロギス科

〈1〉 *Nippancistroger testaceus* ハネナシコロギス

三川山 1982-ix-11 1♂1♀

Gryllidae コオロギ科

〈1〉 *Teleogryllus emma* エンマコオロギ

三川山 1982-ix-11 1♀

神鍋 1982-ix-12 1♂

妙楽寺 1982-ix-11 1♂

〈2〉 *Loxoblemmus* sp. 4 モリオカメコオロギ

三川山 1982-ix-11 1♂

神鍋 1982-ix-12 2♂

妙楽寺 1982-ix-11 1♂

- 〈3〉 *Paratrigonidium bifasciatum* クサヒバリ
 妙楽寺 1982-ix-11 1♀ 島田真輔
 〈4〉 *Oecanthus longicauda* カンタン
 三川山 1982-ix-11 1♂

Ⅲ. バッタ垂目 CAEUFERA

Tetrigidae ヒシバッタ科

- 〈1〉 *Formosatettix larvatus* コガネヒシバッタ
 三川山 1982-ix-11 1♀

Acrididae バッタ科

- 〈1〉 *Acrida turrita* ショウリョウバッタ
 妙楽寺 1982-ix-11 1♀
 〈2〉 *Trilophidia annulata japonica* イボバッタ
 妙楽寺 1982-ix-11 1♂
 〈3〉 *Parapleurus alliaceus* イナゴモドキ
 神鍋 1982-ix-12 4♂5♀
 〈4〉 *Mecostethus magister* ツマクロイナゴモドキ(ツチバッタ)
 神鍋 1982-ix-12 2♀
 〈5〉 *Chorthippus latipennis* ヒロバネヒナバッタ
 三川山 1982-ix-11 1♀

Catantopidae イナゴ科

- 〈1〉 *Oxya yezoensis* コバネイナゴ
 妙楽寺 1982-ix-11 1♀
 〈2〉 *Parapodisma* sp. コンゴウフキバッタ(仮称)
 神鍋 1982-ix-12 1♀ 加野正
 〈3〉 *Parapodisma* sp. ヒョウノセンフキバッタ(仮称)
 三川山 1982-ix-11 6♂1♀

P. dairisama タイリフキバッタに近縁であるが、背縁突起(図6A 矢印)がないので区別できる。尾毛が“く”の字型に曲がっている。♂の翅は第2腹節をおおい、重っている。

phallusは *P. dairisama* と酷似する。

〔参考文献〕

日浦勇 (1977) 原色日本昆虫図鑑, 直翅目, 保育社

—— (1976) 対馬の蜻蛉目および直翅型昆虫, 対馬の生物 P. 520~529

丹羽力・岡田正哉 (1982) 日本産ナナフシ類について(Ⅲ), 昆虫と自然 17 (4): 5~9

岡田正哉 (1981) 日本産トビナナフシ (*Micadina*) 属識別図, なおはね情報 33: 1~6

萩原亨・河北均 (1978) ササキリモドキ亜科, 大阪市立自然史博物館第5回 特別展「鳴く虫」解説, P. 51~54

Yamasaki, T., (1982) Some New or Little Known Species of the Meconematinae (Orthoptera, Tettigoniidae) from Japan, Bull. Natl. Sci. Mus., Tokyo, Ser. A, 8(3): 119~130

藤本艶彦・加納康嗣 (1982) ササキリモドキの配偶行動, インセクトリウム 19 (11): 10~13

Furukawa, H., (1938) Notes on the Genus *Anoplophilus* (Gryllacridae of Eastern Asia, II), むし 11: 176~185

加納康嗣 (1982) 名張市周辺のミヤマフキバツタ (I), ひらくら 26(2): 13~31

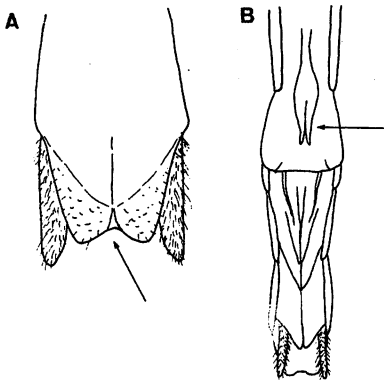


図1 シラキトビナナフシ

A 尾端上面

B 腹部下面先端

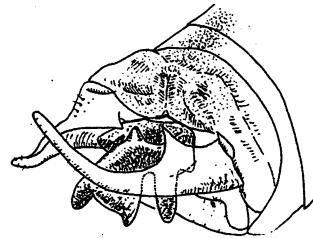


図2 コバササキリモドキの
右尾端側上後面

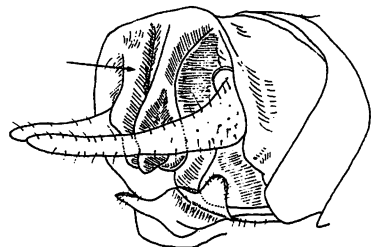


図3 フタエヒメヤブキリモドキ(仮称)の
右尾端側後面

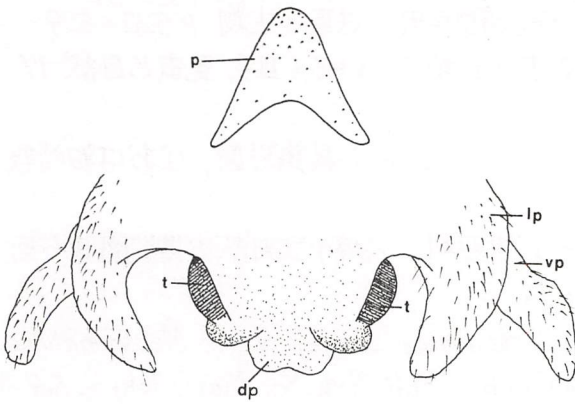


図4 クラズミウマ♀の交尾器
 P…擬腹板 f…操器
 lp…陰茎側葉(膜質)
 vp…陰茎腹葉(膜質)
 dp…陰茎背葉(膜質)

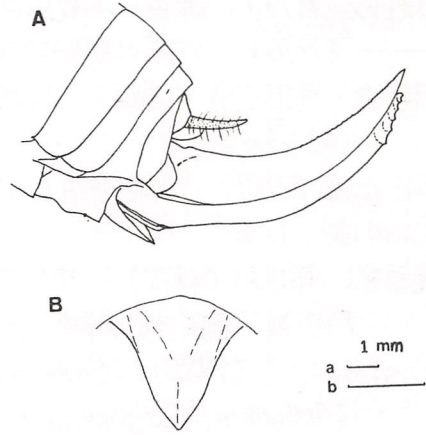


図5 A: クチキウマ♀尾端
 B: クチキウマ♀亜生殖板

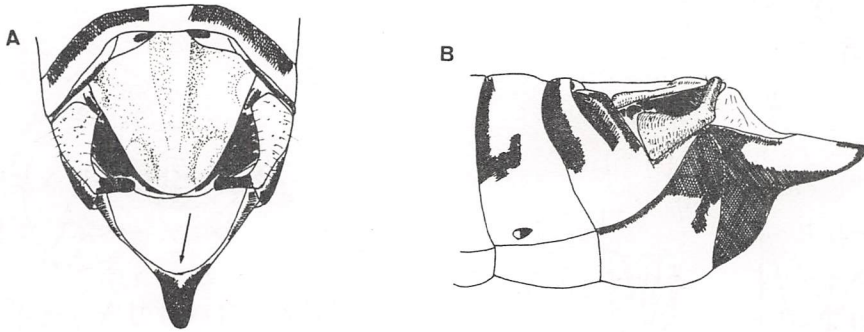


図6 ヒョウノセンフキバッタ♀尾端
 A…上面 B…側面